

平成25年度経済産業省補正予算事業 「地域オープンイノベーション促進事業」のご紹介

1都10県の公設試が連携して航空機産業への参入を支援

地域オープンイノベーション促進事業は、地域企業によるイノベーション創出を促進するため、地域の中核的な試験研究機関や大学等の基盤整備を行う事業です。

1都10県の公設試験研究機関(以下、公設試)、専門家、有識者等からなる関東地域運営協議会(会長:新潟県工業技術総合研究所長、事務局:都産技研)を設立し、関東地方産業競争力強化戦略で示された戦略産業の中から、先端ものづくり産業として注目されている「航空機産業」の支援をテーマとした事業を「地域オープンイノベーション促進事業」として実施することになりました。

関東地域運営協議会で決定した13機種の整備を行い、機器の共同利用システムの導入による航空機産業分野への支援を広域関東圏の中小企業に向けて行います。

整備する機器

配置公設試	機器の名称
東京都立産業技術研究センター	減圧恒温恒湿槽
茨城県工業技術センター	炭素繊維強化プラスチック製造機(CFRP試織機)引張試験機(アライメント調整機能付き)
栃木県産業技術センター	振動複合環境試験装置
群馬県立産業技術センター	オゾン環境試験機
埼玉県産業技術総合センター	ガスクロマトグラフ質量分析計(Q-TOF GC/MS)
千葉県産業支援技術研究所	電子線後方散乱回折システム
神奈川県産業技術センター	電子線描画装置
新潟県工業技術総合研究所	5軸マシニングセンター
山梨県工業技術センター	X線分析顕微鏡
山梨県富士工業技術センター	多機能型CNC三次元座標測定機
長野県工業技術総合センター	高精度サーボ式プレス特性評価装置
静岡県工業技術研究所	樹脂材料造形システム

都産技研に整備する「減圧恒温恒湿槽」とは

減圧恒温恒湿槽は、航空機搭載用電子機器などが飛行中に受ける急激な温度変化や圧力ストレスの模擬、低大気圧、低温下での電子機器等の信頼性評価に活用できます。

【主な仕様】

圧力範囲:90kPa(海拔約1000m)~1.2kPa(海拔約3万m)
温度範囲:-62℃から150℃

【主な試験規格】

- (1)航空機搭載機器:RTCA/DO-160D、JIS W 0812
- (2)減圧試験方法:IEC60068-2-13、2-40、2-41



減圧恒温恒湿槽

※実証試験セクターで平成27年4月から運用予定

機器検索システム構築

公設試が保有する機器類は、これまで機関ごとにインターネット等で情報公開していましたが、運営協議会に参加する公設試の機器を一括して検索できるシステムを構築し、公開しています。

航空機産業支援に関するシンポジウム開催 先端ものづくり(航空機)産業の未来

地域オープンイノベーション促進事業の成果を広く普及するため、航空機産業支援に関するシンポジウムを開催します。航空機産業への参入を狙う中小企業の方や先端ものづくり産業の今後について興味のある方はぜひご参加ください。

開催日時 **平成26年12月19日(金)13:30~16:30**

場所 都産技研 本部 東京イノベーションハブ

参加費 無料

講演テーマ 「金属3Dプリンタによる最新ものづくり戦略」
「MRJの挑戦~国産旅客機を世界の空へ~」

お問い合わせ 経営企画室<本部> TEL 03-5530-2426